

国立国会図書館における和古書書誌データ作成

(利用者サービス部人文課古典籍係 伊藤 直美)

## 0. 国立国会図書館の古典籍資料

- ・古典籍資料室（東京本館3階）で提供（月～土、9:30-17:00）
- ・人文課古典籍係が管理
- ・約28万冊を所蔵（令和元年度国立国会図書館年報による）
  - うち貴重書（1,310タイトル）準貴重書（799タイトル）等（重要文化財10件を含む）。
  - 和古書（江戸期以前、～1868）：奈良時代の資料から所蔵。江戸期以後の資料は、古活字版をはじめ分野を問わず充実。
  - 漢籍（清代以前、～1912）：万遍なく所蔵するが、族譜、地方志は特に多数所蔵。
  - 西洋古典籍（～1830）：出版文化史、日本関係、科学史関係が中心。

## 1. 和古書収集の歴史（※主なコレクションのみ）

明治5年	書籍館（文部省）	この時の蔵書約11万冊（昌平坂学問所からの漢籍、和学講談所からの国書、大学南校の洋書等）の大部分は、太政官博覧会事務局と合併・分離後に東京書籍館になった時、博覧会事務局の所管する浅草文庫へ
明治8年	東京書籍館	旧藩校蔵書43,630冊を文部省より交付（明治11年追加分を含む）
明治10年	東京府書籍館	
明治13年	東京図書館	
明治16年		榊原芳野（1832-1881 国学者）旧蔵書6,157冊寄贈
明治27年		宗家文書1,593冊外務省より移管（明治45年追加分を含む。平成19年度重要文化財に指定）
明治30年	帝国図書館	
明治32年		大惣本（貸本屋大野屋惣八旧蔵）約9,000冊購入
明治38年		旧幕府引継書を東京府より永久寄託（明治27年寄託）、約9,000点（町奉行所等記録類）
明治39年		京都円光寺旧蔵書約1,300冊購入
明治41年		水野年方（1866-1908 日本画家）旧蔵書約660冊寄贈
明治42年		小宮山叢書（小宮山楓軒1764-1840、孫の南梁1829-1896 自筆稿本類）約700冊購入（追加購入含む）
大正2-3年		小杉楹邨（1834-1910 国史・国文学者）旧蔵書約600冊購入
大正4年		今泉雄作（1850-1931 美術史家）旧蔵304点寄贈
昭和6年		青山文庫（根岸武香1839-1902 考古学者）約4,000点寄贈（古文書・地誌類）
昭和15-17年		白井文庫（白井光太郎1863-1932 植物学者）約6,000冊購入（本草関係）
昭和18年		新城文庫（新城新蔵1873-1938 宇宙物理学者）約12,000冊購入（天文・

暦学)

- 昭和 18-19 年 亀田文庫（亀田侯吉氏基金による）793 冊購入
- 昭和 19 年 伊藤文庫（伊藤圭介 1803-1901 本草学者）約 2,000 冊購入（本草関係）
- 昭和 20 年 宮田文庫（宮田脩 1874-1937 女子教育家）和洋書 1,176 冊購入  
岡田文庫（岡田希雄 1898-1943 国語・国文学者）約 1,400 冊（国語学）陸軍士官学校より移管
- 昭和 22 年 国立図書館
- 昭和 23 年 国立国会図書館
- 昭和 23 年 有松英義（1863-1927 元枢密院書記官長）旧蔵書約 3,000 冊衆議院より移管  
尾島碩宥（1876-1948 方鑑家相・暦学研究家）旧蔵古暦 154 点購入
- 昭和 24-28 年 弥富破摩雄（1877-1948 国文学者）旧蔵書約 2,000 冊購入
- 昭和 24-29 年 亀田文庫（亀田次郎 1876-1944 国語学者）約 6,900 冊購入
- 昭和 25 年 鵜軒文庫（土肥慶蔵 1866-1931 医学博士）約 7,900 冊購入（コレクションのうち漢詩文関係のみ）  
斑山文庫（高野辰之 1876-1947 国文学者・演劇学者）180 冊購入（音楽関係）
- 昭和 52 年 長谷川家（越後新発田藩医）旧蔵約 1,600 冊寄贈
- 昭和 62 年 渡辺敏夫（1905-1998 暦学研究家）旧蔵書約 5,000 点寄贈  
堀田両平（1913-1989 堀田時計店 4 代目）旧蔵書約 6,000 点寄贈
- 平成 9 年 気象庁図書館より 165 点寄贈（伊能図を含む）
- 平成 10-12 年 特許庁図書館より約 1,600 冊寄贈
- 平成 13 年 小野家旧蔵書 105 点寄贈（うち 11 タイトルは「小野蘭山関係資料」として平成 27 年度重要文化財に指定）
- 平成 22 年 矢野宗幹（1884-1970 昆虫学者）・長谷川仁（1918-2006 昆虫学者）旧蔵書 345 冊寄贈
- 平成 27 年 「大沼枕山・鶴林関係資料」266 点寄贈
- 令和元年 「天文方渋川家関係資料」274 点寄贈

#### 【現在の収集状況】

「資料収集方針書」に基づき文化史又は学術上重要なものを厳選して収集（購入・寄贈）

- 国立国会図書館ホームページトップ>事業紹介>資料の収集>蔵書構築>資料収集方針書 に掲載。

<https://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/collection/pdf/housin.pdf>

## 2. 目録作成およびデータベース化の状況

### 冊子目録→データベース化

東京書籍館以来、多数の冊子体の蔵書目録を刊行（新刊書と混排）。

1977年から目録のデータベース化が開始され、和古書も和図書に混じって入力される。

### 和古書書誌データベースの構築

#### ① 1997年12月～和古書書誌データベースの作成開始

「日本目録規則 1952年版」および「日本目録規則 1987年版 改訂版」等を参考にして、和古書の特性に応じた入力方法を検討し、独自の入力マニュアルを作成する。戦後（1948年以降）受入分を中心に約 5,500 件を入力。

#### ② 2000年12月～「国書基本データベース」を利用した遡及入力

国文学研究資料館の「国書基本データベース」（現在は「日本古典籍総合目録データベース」）から当館所蔵資料の著作データを抽出し、追記・訂正を加える方式で書誌データを作成。戦前（東京書籍館、東京図書館、帝国図書館時代）受入分および未入力の戦後受入分の大部分（合わせて約 35,000 件）について入力。「国書基本データベース」の書名、著者名をほぼそのまま使用しているため、記述の正確さに欠ける面がある。

#### ③ 2003年1月～「日本目録規則 1987年版 改訂2版」和古書適用細則の適用

2003年1月、和古書書誌データベースを「統合書誌データベース」<sup>【注】</sup>に移行。それに伴い、「日本目録規則 1987年版 改訂2版」に準拠したマニュアルを作成して、入力規則を変更する。

【注】1999年より、当館は「統合書誌データベース」を開発。従来、資料群（和図書、洋図書、和雑誌・新聞、洋雑誌・新聞など）によって異なっていた書誌データベースを順次一本化。「日本目録規則」および「英米目録規則第2版」を基本としたデータ構造で、資料群ごとの入力規則も可能な限り共通化することを目指している。

#### 2009年8月「日本目録規則 1987年版 改訂3版」和古書適用細則に改訂

#### 2012年1月「和古書適用細則」をさらに改訂

MARC21 フォーマット採用とデータ作成・提供システム変更に伴い、改訂を行った。

#### ④ 2021年1月～「日本目録規則 2018年版」和古書適用細則の適用

2018年に策定された新たな「日本目録規則（NCR）」に即した和古書適用細則の適用を開始した。

### 【参考】書誌データの水準

- ① NCR52 + 87 改訂版 約 5,500 件
- ② 国書基本 DB を利用 約 35,000 件
- ③ NCR87 改訂2版・3版 約 10,600 件
- ④ NCR2018 約 160 件

令和3年5月現在 51,282 件入力済

### 3. 国立国会図書館における「日本目録規則 2018」の適用について

#### (0) 『日本目録規則 2018 年版』(NCR2018)の策定

- 日本図書館協会 (JLA) 目録委員会と国立国会図書館との連携による  
2018 年 12 月 JLA から冊子体刊行

2019 年 1 月 JLA のサイトにて PDF 版を公開

<https://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/ncr2018/tabid/787/Default.aspx>

- 日本図書館協会「日本目録規則 (NCR) 2018 年版関連情報」のページ

<https://www.jla.or.jp/committees/mokuroku/tabid/643/Default.aspx>

#### (1) NCR2018 の特徴

- FRBR (Functional Requirements for Bibliographic Records) を基盤とした規則  
※FRBR=IFLA(国際図書館連盟)から 1997 年に発表された概念モデル「書誌レコードの機能要件」
- RDA (Resource Description and Access) との相互運用性  
※RDA=「英米目録規則」(Anglo-American Cataloguing Rules : AACR) の第 2 版 (AACR2)の後継規則である「資源の記述とアクセス」。2020 年 12 月まで NCR2018 と同じ FRBR に依拠していた。
- NCR1987 年版からの継続性 (日本の出版状況やこれまでの目録慣行などに配慮)
- 和古書・漢籍についての規定もあり

##### 【参考】

- ・ 日本図書館協会目録委員会「「日本目録規則 2018 年版」(仮称)の完成に向けて」(『図書館雑誌』2017 年 2 月号)  
<https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/article201702.pdf>
- ・ 渡邊隆弘「新しい『日本目録規則』のすがた：何が新しくなるのか」(『現代の図書館』55(4)2017 年 12 月)  
[https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/gendai\\_no\\_toshokan\\_55-4watanabe.pdf](https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/gendai_no_toshokan_55-4watanabe.pdf)
- ・ 収集書誌部収集・書誌調整課 小林久美子「What's 書誌調整ふたたび 第 12 回 新しい『日本目録規則』(NCR2018 年版)の特徴」(『国立国会図書館月報』691 号 2018 年 11 月)  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11174776>

#### (2) 国立国会図書館における適用と主なポイント

- 2019 年より適用細則検討開始
- 2021 年 1 月、適用開始および適用細則を公開  
日本目録規則 2018 年版 (NCR2018) について

<https://www.ndl.go.jp/jp/data/ncr/index.html>

- ✓ 著作の典拠コントロール<sup>1</sup>の開始
- ✓ 資料の内容的側面と物理的側面の整理
- ✓ 機械可読性の向上
- ✓ 「関連」の重視
- ✓ アクセス・ポイントという用語の使用

---

<sup>1</sup> 収集書誌部収集・書誌調整課 西村葉純「2021年1月から Web NDL Authorities が変わります」(『NDL 書誌情報ニューズレター』2020年4号(通号55号)参照  
[https://www.ndl.go.jp/jp/data/bib\\_newsletter/2020\\_4/article\\_01.html](https://www.ndl.go.jp/jp/data/bib_newsletter/2020_4/article_01.html)

## 4. 国立国会図書館「日本目録規則 2018」和古書適用細則について

### (0) 日本目録規則と国立国会図書館の和古書適用細則

2001年 日本目録規則 1987年版 改訂2版公開

2003年 国立国会図書館「日本目録規則 1987年版改訂2版」和古書適用細則公開

2006年 日本目録規則 1987年版 改訂3版公開

2009年 国立国会図書館「日本目録規則 1987年版改訂3版」和古書適用細則公開

2012年 国立国会図書館「日本目録規則 1987年版改訂3版」和古書適用細則改訂

2018年 日本目録規則 2018年版公開

2021年 国立国会図書館「日本目録規則 2018年版」和古書適用細則公開

■国立国会図書館ホーム > 書誌データの作成および提供 > 書誌データ作成ツール > 日本目録規則適用細則類一覧に掲載

[https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/ncr\\_regulations/02-05\\_jobk\\_202101.xlsx](https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/ncr_regulations/02-05_jobk_202101.xlsx)

### (1) 主な変更点

#### ①形式の変更

これまでの適用細則は、「日本目録規則 1987年版改訂3版」の条文の順序に基本的に則り、和古書に適用する条項を抜き出して修正し記述していたが、新しい適用細則は「日本目録規則 2018年版」の全条文について、「適用」「非適用」「修正適用」のいずれかで記述している。また、ファイル形式も、表形式で公開している。

#### ②記録内容の変更点

これまで刊行物か非刊行物かは資料種別に記録していたが、注記と出版表示等のインディケータで区別するようになった。

機器種別（機器不用）、キャリア種別（冊子、シートなど）、表現種別（テキスト、静止画など）を記録するようになった。

必要な場合は、著者標目に関連指示子を入れることになった

#### ③著作典拠との関連

和図書に関しては著作典拠の運用が始まったが、和古書は従来通り『国書総目録』の項目名を統一タイトルとして記録するにとどめている。今後、和古書における著作典拠の運用について検討が必要。

「統一タイトル（和古書）の選択・形式基準（2021年1月）」

[https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/accesspoint/pdf/jobk\\_title\\_202101.pdf](https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/accesspoint/pdf/jobk_title_202101.pdf)

### (2) 概要およびセクション1 属性総則

#### ①範囲

本文が日本語で書かれた印刷資料（刊本）又は書写資料（写本）のうち、慶応4年までに刊行又は書写されたものを和古書とする。

ただし、以下に該当するものは例外とする。

ア) 慶応4年までに日本で刊行又は書写された日本人の著作は、本文の言語が漢文、欧文の場合も和古書として扱う。

例：『日本書紀』（漢文著作）

イ) 印刷資料については、明治元年以降の後印であることが明らかな場合は和古書として扱わない。

例：高井蘭山『女重宝記』弘化4年刊明治年間の後印本あり。(弘化4年の刊記があるが、出版地を「東京」と直してある。)

ウ) 書写資料については、明治元年以降に書写されたものであっても、慶応4年以前に著作が成立している場合は和古書として扱う。

例：『梁塵秘抄』昭和2 高野辰之写

## ②記述対象

- ・個別資料ごとに書誌データを作成する。

同版本＝複本とは考えない。

- ・原則として単行資料（又は単行資料の集合）を対象とする。

同時に出版・製作されたと思われる多巻・多冊ものでも、各巻・冊によって表示されているタイトルが異なる場合がある。このような場合、「固有のタイトル」のみを基準とするのではなく、出版・製作時の意図をくみ取って単行資料か否かを判断する必要がある。

**巖島図会 10巻** / 岡田清 編；山野峻峯齋 画  
広島：樽屋惣左衛門；世並屋伊兵衛，天保13 [1842]  
書名は巻1-5 巻頭による  
【注記】 **巻6-10 巻頭書名：巖島宝物図会。**

## ③記録の方法

- ・漢字は、原則として所定の情報源に使用されている字体で記録する。
- ・Unicode/UTF-8の外字および置き換える漢字については、『文字の取扱い基準（2021年1月）』（当館ホームページトップホーム > 書誌データの作成および提供 > 書誌データ作成ツール > 文字・読みの基準に掲載）による。
- ・変体仮名は通用の仮名に改める。変体仮名の母体となっている漢字（字母）を注記することができる。

となみ山  
(注記「巻頭書名表示は「刀奈美山」)

- ・判読不能の文字は「□」で表し、対応する文字数分を記録する。字数も不明のときは、「□・・・□」とする。推読した文字は、角がっこに入れて記録する。

□□屋次兵衛  
字音仮[名]便覧

### (3) セクション2(第2章～第5章)の各書誌的事項(エレメント)の記録方法

#### ① タイトル/タイトル標目

##### ○情報源と優先順位

情報源の選択に当たっては、時代、ジャンルあるいは造本等の事情を考慮する。

- ① 巻頭、題簽、表紙
- ② 目首、自序・跋、巻末
- ③ 奥付、見返し、扉、版心、著者・編者以外の序・跋
- ④ 小口書、識語等

巻頭以外の情報源から本タイトルを採用した場合は、その情報源を注記する。

うつほ物語 20 巻  
大阪：河内屋源七郎，文化3 [1806]  
【注記】書名は題簽による

情報源によってタイトルの表示が異なるときは、必要に応じて、記録しなかった他のタイトルを情報源と共に注記し、「別タイトル(異形タイトル)」にも検索キーとして記録する。

近代著述目録 8 巻 / 堤朝風 原輯；萬笈堂英遵 補定  
江戸：西村源六；萬笈堂英平吉，文化8 [1811] 序  
【注記】題簽書名：近代名家著述目録  
【別タイトル】近代名家著述目録

##### ○角書等の記録

角書は本タイトルには含めない。角書付書名を注記および「別タイトル」に記録する。

壽福年代記大成 5 巻  
浪花：寶文堂，正徳2 [1712]  
【注記】角書付書名：和漢壽福年代記大成  
【注記】題簽書名：壽福年代記 (角書：正徳改正)  
【別タイトル】和漢壽福年代記大成  
【別タイトル】壽福年代記  
【別タイトル】正徳改正壽福年代記

タイトルの下部又は後方に、形態や内容、出版に関する補足的な説明が付される場合は、タイトル関連情報として記録する。

万代節用字林蔵：改正新板 / 蘆田鈍永筆；下河辺拾水画  
京都：菊屋忠兵衛 [ほか]，寛政7 [1795]  
【注記】角書付書名：増字万倍万代節用字林蔵  
【別タイトル】増字万倍万代節用字林蔵改正新板

##### ○総合タイトルがない資料の場合

資料全体に対応する総合タイトルがなく、資料の内容をなす各著作のタイトルが表示されているときは、次のいずれかの方式による。

- ア) それぞれの著作のタイトルを列記する。



**おあむ物語 / 山田去暦女著. おきく物語**

江戸：和泉屋金右衛門, 弘化2 [1845]

イ) 総合タイトルを補う。各著作のタイトル等は内容細目として記録する。

**[和歌口伝雑抄]**

[江戸後期] [写]

【内容細目】

和歌口伝 / 藤原家隆 著

遠所御抄

俊成卿女文 / 越部禅尼 著

遂加 / 慶融 著

和歌庭訓抄 / [二条為世] [著]

和歌用意条々 / [二条為世] [著]

代々集巻頭歌

ウ) 主要な著作のタイトルを総合タイトルとみなして記録する。各著作のタイトル等は内容細目として記録する。

**手爾葉大概抄 / 定家卿 [著]**

明和1 [1764] [写]

【内容細目】 **手爾葉大概抄 / 定家卿 [著]. 手爾葉大概抄之抄 / 宗祇[著]**

### ○巻次等

巻立てがある完全本の場合、書誌的巻数を本タイトルの一部として記録する。(全1巻のときは記録しない。)

**蜻蛉日記 3巻**

大坂：安井嘉兵衛, 宝暦6 [1756]

欠巻がある場合は、書誌的巻数を記録せず、記述対象に対応する巻次、冊次、部編等を、順序表示および(または)従属タイトルとして記録する。

詩経名物辨解. **巻1,4-7** / 松岡玄達 鑒定 ; 江村如圭 纂述

京都：林伊兵衛, 享保16 [1731]

### ○統一タイトル標目(著作に対する統制形アクセス・ポイント)

ある著作がさまざまなタイトルで刊行又は書写される場合、統一された著作名からの検索を可能にするため、統一タイトルを採用する。

記述対象資料の本タイトルと、『国書総目録』の項目名が異なる場合、『国書総目録』の項目名を統一タイトルとして記録する。『国書総目録』のほか、『黄表紙総覧』等の信頼できる参考図書から採用することもある。

広益三重韻

洛陽：中村五兵衛, 元禄12 [1699]

【統一タイトル標目】 **聚分韻略**

## ②責任表示／著者標目(個人・団体に対する典拠形アクセス・ポイント)

### ○情報源と優先順位

責任表示は記述対象資料に表示されている著者等(著者、編者、訳者、校注者、画工等)を転記する。情報源の優先順位はタイトルに同じ。

情報源に著者等の表示がないが、参考資料によって著者が判明する場合は、角がっこに入れて責任表示に記録する。

和字正濫鈔 5巻 / **契沖** [著]  
京都：中河喜兵衛；江戸：中河五郎兵衛，元禄8 [1695]

### ○著者標目(個人・団体に対する典拠形アクセス・ポイント)

責任表示に記録した著者等は、個人・団体に対する典拠形アクセス・ポイント等として記録する。当館が適用している関連指示子に該当する役割がある場合は、関連指示子を記録する。

当世導通記 / 天竺老人 戯作  
東都：川喜田市右衛門，天明2 [1782]  
**【著者標目】森島，中良，1754-1810 著者**

## ③版に関する事項(版表示)

使用しない。

記述対象資料に「新版」「再版」「増補」「改訂」等の表示があるときは、タイトル関連情報、タイトルに関する注記、版表示に関する注記等として記録する。

菅原伝授手習鑑 / 竹田出雲 [ほか]作  
大坂：紙屋与右衛門 [ほか]，[江戸中期]  
**【注記】角書付書名：再版菅原伝授手習鑑**  
(情報源の表示) 再版**菅原伝授手習鑑**

☞「日本目録規則 2018」#2.3.0.1

記述対象がどのような版であることを示す表示を、版表示として記録する。

## ④出版に関する事項(出版表示等)

刊行物は、刊記、見返し、扉、序、跋等の情報源から出版に関する情報を記録する。

### ○出版地

情報源に、旧国名、旧都市名に相当する地名が表示されている場合は、そのまま記録する。別称等、識別しにくい地名が表示されている場合は、通用の地名を角がっこを使用して記録する。

新增愚按口訣 / 土佐道寿 編集；中山三柳 新增；北山友松子 増広口訣  
神京[京都]：村上勘兵衛，延宝9 [1681]  
(情報源の表示：神京)

出版時の都市名より下位の地名が表示されている場合は、原則としてこれを記録せず、その土地が所在する、都市名、国名を角がっこを使用して記録する。

好色一代男 8巻 / [井原西鶴] [著]；菱河吉兵衛師宣 [画]  
[江戸]：川崎七郎兵衛，貞享1 [1684]  
(情報源の表示 日本橋南貳町目川瀬石町)

☞ 「日本目録規則 2018」 #2. 5. 1. 2A

資料自体に表示されている地名を記録する。当該の地名と同名の市町村名等が現代に存在する場合に、識別に必要なときは、その土地が所在する、出版時の都市名、国名を付加する。

心齋橋[大坂]

## ○出版者

出版者は、堂号、屋号も含め、情報源の表示の通りに記録する。屋号に続けて姓名が表示されている場合でも、姓を省略しない。

博山和尚參禪警語 2巻  
伊勢屋額田正三郎, [江戸時代]

複数の出版者が情報源に表示されている場合は、二つまでのときはそのまま記録し、三つ以上のときは顕著なもの一つを記録し、他は[ほか]または[ほか○名]と角がっこを使用して記録して省略する。顕著なものが判断できない場合は、刊記・奥付に表示されている最後の出版者か、見返しに表示されている最初の出版者を選択する。

万代節用集 2巻 / 宮田彦左衛門 編  
江戸：英屋大助；大坂：河内屋茂兵衛，嘉永3 [1850]  
阿也可之譚 9巻 / 石田玉山 作・画  
浪花：大野木市兵衛 **[ほか5名]**，文化3 [1806]

☞ 「日本目録規則 2018」 #2. 5. 3. 2. 2A

省略して記録する場合は「ほか」と付加し、記録しなかった出版者は必要に応じて注記する。

江府 [江戸]：西村與八 [ほか]；

京師 [京都]：梅村伊兵衛 [ほか]；浪花 [大坂]：大野木市兵衛 [ほか]，文化3 [1806]

出版地、出版者がその資料に表示されていないときは、出版地、出版者の記録を省略することができる。

日本書紀. 卷 1-2 / 舎人親王 奉勅撰  
慶長4 [1599]  
古活字版，後陽成天皇勅版

☞ 「日本目録規則 2018」 #2. 5. 1. 2. 3 (出版地)、#2. 5. 3. 2. 4 (出版者)

出版地、出版者が推定できない場合は、「出版地不明」等と記録する。

[出版地不明]：[出版者不明]，慶長4 [1599]

## ○出版日付

刊本については、刊・印・修にかかわらず、情報源に表示されている最新の年を記録する。

刊・印・修の別が判明する場合はその説明を注記する。

橋供養 5巻 / 絳山 編；葛飾北斎，雷洲 画  
江戸：丁子屋平兵衛；大阪：河内屋茂兵衛，天保4 [1833]  
【注記】文化12年江戸角丸屋甚助刊の後印本

☞「日本目録規則2018」#2.5.5.2A

刊行年とは別に印行年が判明した場合は、「印」という用語を付加し丸がっこに入れて、刊行年に続けて記録する。

江戸：丁子屋平兵衛；大阪：河内屋茂兵衛，  
文化12 [1815] [刊] (天保4 [1833] [印])

出版年の表示がなく、序文、跋文等に表示されている年記が出版年に準ずると認められる場合は、これを記録し、「序」、「跋」等の語を付加する。

気海観瀾 / 青地盈林宗 述  
東都：和泉屋吉兵衛，文政10 [1827] 序

出版日付および序文、跋文等に表示された日付がない場合、または表示されている情報が記録するのに適切でない場合は、調査もしくは推定による出版年代を角がっこを使用して記録する。

橘窓茶話. 中,下 / 芳洲雨森 著；筱応道安道 校  
大阪：堺屋定七 [ほか6名]，[江戸後期]  
【注記】巻末に天明6年大阪高橋喜助ほか3名の刊記あり

☞「日本目録規則2018」#2.5.5.2.1

出版日付を推定できない場合は[出版日付不明]

## ⑤書写(制作等)に関する事項(非刊行物の制作表示)

書写資料(非刊行物)の場合、出版項目は存在しないため、記述対象資料に表示されている書写地、書写者、書写日付を記録する。

### ○書写者(非刊行物の制作者)

書写資料の制作者は「写」という用語を付加する。

和朝古今鍛冶之次第同名乗事  
竹屋宗左衛門尉 [写]，慶長3 [1598]

自筆であると判明した場合は、「自筆」という用語を付加する。

大田南畝 [自筆]，文化6 [1809]

複数の書写者の表示がある場合は、2つまでのときはそのまま記録し、3つ以上のときは主なものの一つを記録して「[[ほか○名]]」と補記する。筆跡等から複数の書写者によると判断されるが、書写者の人数が分からない場合は、表示されている書写者の中から主な1名を記録して「[[ほか]]」と補記する。

春日権現験記繪 閑野永甫 [ほか4名写]
異国船一件 水野源正達 [ほか写]

☞「日本目録規則 2018」#2.8.3.2.2

採用した情報源での表示順序、配置等に基づいて判断した順に記録する。

### ○書写日付(非刊行物の制作日付)

日付がないか、または表示されている情報が記録するのに適切でない場合は、おおよその制作年代を推定して記録する。

書写地、書写者が判明しない場合は、書写地、書写者の記録を省略することができる。書写者を省略した場合は、書写日付のあとに[写]を付加する。

建長寺人別帳 [江戸後期] [写]
----------------------

☞「日本目録規則 2018」#2.8.1.2.3、#2.8.3.2.4、#2.8.5.2.1

推定できないときは[書写地不明] [書写者不明]等

## ⑥形態に関する事項(キャリアに関する情報)

### ○数量

資料の数量は、冊数等(冊、軸、舗、枚、帖)を記録する。1冊の場合でも、丁数は記録せず、必要に応じて注記する。

合冊されて原装の冊数から変化したことが容易に分かる場合、原装の冊数の後に合冊後の冊数を丸がっこに入れて付加する。

真草二行節用集 3巻 [京都]: 林重右衛門, 万治2 [1659] <b>3冊 (合1冊); 27 cm</b>
---

☞「日本目録規則 2018」#2.17.0.2A

現在のキャリアについて記述し、原装のキャリアについては、必要に応じて注記として記録する。合冊または分冊されて原装の冊数が変化している場合は、必要に応じてその詳細を注記として記録する。

卷子本、掛物は「軸」、一枚ものは「枚」、畳ものは「舗」、折本、折帖仕立ては「帖」、その他(袋綴、粘葉装、綴葉装、帳綴)は「冊」と記す。

また、冊子の場合を除き、キャリアの種類を示す用語等に続けて数を記録する。

御免琉球人行列附 / 歌川国芳 画 東都：平野屋助三郎：大木屋平右衛門，天保 3 [1832] <b>卷子本 1 軸</b> ；28 cm
武蔵國全圖 / 菊池武辰 著，橋本玉蘭 画圖 東都：[江戸末期] <b>地図 1 舗</b> ；111 × 125 cm (折りたたみ 26 × 19 cm)

### ○大きさ

大きさは、資料の外形の高さをセンチメートルの単位で、端数を切り上げて記録する。ただし、貴重書等、特に詳細な記述を必要とする資料については小数点以下 1 桁まで記録することができる。

縦長本、横長本、柘型本は、縦、横の長さを「×」印で結んで記録する。これらに該当しない資料であっても、必要に応じて、縦、横の長さを「×」印で結んで記録することができる。

江戸生艶気樺焼 3 卷 / 京伝 作；北尾政演 画 [江戸]：[蔦屋重三郎]，[天明 5 (1785)] 1 冊； <b>18 cm</b>
--

畳ものは広げた形の縦、横の長さを「×」印で結んで記録し、折りたたんだときの外形の縦、横の長さを付加する。

山城国細見大絵図 / 洛下百芽 作；下河辺拾水 書画 京都：平野屋茂兵衛 [ほか 3 名]，安永 7 [1778] 1 舗； <b>102 × 189 cm (折りたたみ 28 × 19 cm)</b>
---

卷子本は料紙の高さを記録する。

[年中行事絵巻] / 藤原光長 繪 [谷文晁] [写]，[江戸後期] 16 軸； <b>51 cm</b>
---

### ⑦注記

#### ○本文の系統等

本文の系統等、その資料の性質を特定できる情報がある場合、必要に応じて注記する。

【注記】竹本筑後掾正本

#### ○書誌学的通称名

その資料の特徴を簡潔に表現できる書誌学上の呼称があるときは注記する。

【注記】五山版

【注記】古活字版

【注記】丹緑本

【注記】奈良絵本

○蔵版者

資料に蔵版者が表示されているときは注記する。

ただし、蔵版者が出版者と一致する場合は注記しない。

【注記】三余齋蔵版

○蔵版目録、近刊予告、広告等について

蔵版目録、近刊予告、広告等について説明する必要があるときは注記する。

広告、蔵版目録や、発行印（出版者標章等も含む）等を情報源としたときは記録する。

【注記】巻末に「北林堂蔵版目録」あり

【注記】出版者は絵題簽標章による

○刊記

出版表示の情報源である刊記等を、必要があるときは転記する。

【注記】刊記に「慶長拾六年九月日落下烏丸通二条二町上之町刊之」とあり

○印刷、制作手段

書写資料は「書写資料」と記録する。

印刷、制作手段等について、説明する必要があるときは注記する。

【注記】書写資料

【注記】銅活字版

【注記】拓本

○装丁

袋綴じ以外の装丁、袋綴じの様式、帙、箱、原装等について必要に応じて注記する。

【注記】掛物

【注記】綴葉装

【注記】五つ目綴じ

【注記】書袋あり

○版式、版面

匡郭、字高、界線、行数、字数等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】四周双边、無界、每半葉12行、黒口、上下花魚尾

○料紙、表紙

料紙、表紙について、説明する必要があるときは注記する。

【注記】色変り料紙

【注記】共紙表紙

○刊写入り交じり

印刷と書写が混在している場合は注記する。

【注記】刊写入り交じり

○彩色（色彩）

彩色が施されているときは注記する。

【注記】色刷（印刷資料のとき）

【注記】彩色（書写資料のとき）

【注記】筆彩（印刷資料に筆で彩色されているとき）

○虫損等

虫損等で保存状態がよくないもの、補修があるものについて必要があるときは注記する。

【注記】虫損あり（裏打ち補修あり）

○識語、奥書等

識語、奥書、その他の書き入れ等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】橋千蔭の書き入れあり

○欠巻、欠丁、錯簡（乱丁）

欠巻、欠丁、錯簡（乱丁）等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】巻下第 25 丁以前欠

○印記・旧蔵者等

印記、旧蔵者名を記録する。印記が文字で表せない場合は、蔵書印の形や使用者を説明する。当館のコレクション名（白井文庫、伊藤文庫、亀田文庫、旧幕府引継書等）もここに記録する。

【注記】印記：南畝文庫、福田文庫、浮生亭

【注記】亀田文庫

⑧分類・件名

○分類

『国立国会図書館分類表』

([https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification\\_subject/ndlc.html](https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlc.html)) のうち、「W 古書・貴重書」の分類記号を記録する。

○件名

和古書については、資料の主題を表すキーワードも記録する。件名標目表は使用しないが、「日本古典籍総合目録データベース」等の分類を示す語を基準にしてキーワードの統制を図る。

江戸町独案内

東都：広嶋屋庄助，天保 13 [1842]

件名：地誌



## 書誌データと著者名典拠 (例)

検索結果一覧に戻る

訓蒙天地辨 3巻

和古書・漢籍  
高井晒我 著  
青黎朝須原屋伊八 [ほか2名], 寛政4 [1792]

冊子体 ; 3冊 (合1冊) ; 23cm

請求記号  
VF7-N224  
国立国会図書館書誌ID  
00007475989

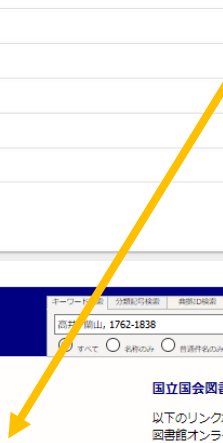
出版地(国名コード)  
JP

言語  
jpn

タイトル 訓蒙天地辨 3巻  
タイトルよみ キンモウ テンチベン 3カン  
著者 高井晒我 著  
出版事項 東都 : 青黎朝須原屋伊八 [ほか2名]  
出版年月日等 寛政4 [1792]  
大きさ、容量等 3冊 (合1冊) ; 23cm  
注記 印記 : 佳口龍文庫  
渡辺敬夫氏寄贈  
装丁 : 和装  
著者標目 高井, 蘭山, 1762-1838  
件名 天文  
分類(NDLC) W388  
資料形態 冊子体  
資料種別 和古書・漢籍  
データベース 国立国会図書館蔵書

URL 開じる

国立国会図書館オンライン  
(国立国会図書館検索・申込オンラインサービス)



Web NDL Authorities  
国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

高井, 蘭山, 1762-1838

ID 00272023  
典拠種別 個人名  
名称/タイトル 高井, 蘭山, 1762-1838  
名称/タイトルのカナ読み タカイ, ランザン, 1762-1838  
名称/タイトルのローマ字読み Takai, Ranzan, 1762-1838  
別名/別タイトル 高井, 伴寛, 高井, 晒我, 思明 (字); 蘭山 (号); 晒我 (号)  
生年 1762  
没年 1838  
経歴 戯作者  
関連リンク/出典 [NDL00272023](#) (VIAF)  
出典 女重宝記 大人名事典  
作成日 1993-06-25  
最終更新日 2006-12-19T15:45:04  
外部サイトへのリンク [Wikipediaで検索を行う](#)  
※Wikipediaの検索結果の一覧が表示されます。  
他形式のデータ [RDF/XML形式](#), [RDF/Turtle形式](#), [JSON-LD形式](#)

国立国会図書館のサービス  
以下のリンクボタンから国立国会図書館オンラインで検索ができます。  
著者名検索  
件名検索

国立国会図書館ホーム | 国立国会図書館オンライン | Web NDL Authoritiesについて | お問い合わせ

Copyright © National Diet Library. All Rights Reserved

Web NDL Authorities  
(国立国会図書館典拠データ  
検索・提供サービス)

## 参考資料

### 和古書・漢籍 「国立国会図書館オンライン」検索のヒント

#### 特定のテーマについて検索したい

和古書は『国書総目録』に記されている分類（類）の言葉から、漢籍は『国立国会図書館所蔵漢籍目録』に記されている四部分類から検索できます。

「国立国会図書館オンライン」の詳細検索画面で資料種別「和古書・漢籍」を選び、「件名」欄に検索したい言葉を入力してください。

#### 注記に入っている言葉から検索したい

印記（旧蔵者の蔵書印）、旧蔵者名、当館のコレクション名（例：白井文庫、鶯軒文庫）や「古活字版」「拓本」など、注記に入っている言葉から検索できます。

「国立国会図書館オンライン」の詳細検索画面で資料種別「和古書・漢籍」を選び、上方のテキストボックスに検索したい言葉を入力してください。（キーワード検索のため、注記以外の箇所と同じ言葉が入っている資料もヒットします。）

#### 和古書（漢籍）のみを検索したい

「国立国会図書館オンライン」の詳細検索画面で資料種別「和古書・漢籍」を選び、「和古書」（「漢籍」）にチェックを付けて検索してください。

#### 刊本（写本）のみを検索したい

「国立国会図書館オンライン」の詳細検索画面で資料種別「和古書・漢籍」を選び、「印刷資料」（「書写資料」）にチェックを付けて検索してください。

#### 漢籍のうち、和刻本（朝鮮本、安南本）のみを検索したい。

「国立国会図書館オンライン」の詳細検索画面で資料種別「和古書・漢籍」を選び、「漢籍」「印刷資料」にチェックを付け、「国名コード」欄に和刻本は「JP」、朝鮮本は「KR」、安南本は「VN」と入力して検索してください。

#### 【ご注意】

入力 of 時期や経緯によりデータの記録方法等に違いがあります。上記の検索方法も万全ではない場合があります。